

## 公開シンポジウム「イノベーション創出に向けた計測分析プラットフォーム」

1. 主 催：日本学術会議化学委員会分析化学分科会、  
独立行政法人日本学術振興会研究開発専門委員会、  
一般社団法人日本分析機器工業会、  
公益社団法人日本分析化学会
2. 後 援：公益社団法人日本化学会  
国立研究開発法人産業技術総合研究所 COMS-NANO
3. 日 時：平成 29 年 9 月 6 日（水）13：00～17：00
4. 場 所：幕張メッセ国際会議場 2 階コンベンションホール A
5. 開催趣旨：計測分析技術は、我が国が得意とするものづくりへの展開を通して、イノベーション創出の基盤を支えてきている。そのための技術を提供する計測分析機器産業界、これを利用する素材・部材産業界は、研究開発の転換点を迎えている。高い国際競争力を維持・向上するため、基盤共有化・オープン化の必要性が高まっていることを受け、我が国の計測分析プラットフォームをどのように構築すべきか、産業界、アカデミア各方面の現状と期待、構築戦略について幅広く議論・討論する。分析技術及び機器開発は最先端研究には必要不可欠であるが、我が国には産官学共にその開発と利用ができる拠点がない。日本学術会議では、「最先端分析・計測機器開発センターおよび共同利用プラットフォーム構想」を提案している。本シンポジウムでは、最先端計測の動向に関する基調講演及び「イノベーション創出に向けた計測分析プラットフォーム戦略の構築」に関する研究開発専門委員会の活動報告を紹介する。
6. 次 第：  
13：00 主催者挨拶「イノベーション創出に向けた計測分析プラットフォーム」の重要性  
鈴木 孝治（日本学術会議連携会員、慶應義塾大学名誉教授）  
13：10 講演「最新のメタボローム解析」  
曾我 朋義（慶應義塾大学先端生命科学研究センター教授）  
13：40 講演「最新のバイオイメージング」  
宮脇 敦史（国立研究開発法人理化学研究所脳科学総合研究センター副所長）  
14：10 講演「最新の安全安心計測」  
瀬戸 康雄（科学警察研究所副所長）  
14：40 講演「オープンイノベーション時代の分析産業」

栗原権右衛門（一般社団法人日本分析機器工業会会長）

15：10－15：30 （ 休憩 ）

独立行政法人日本学術振興会研究開発専門委員会「イノベーション創出に向けた計測分析プラットフォーム戦略の構築」報告

15：30 活動報告「ソフトウェアプラットフォームの構築に向けて」  
安永 卓生（九州工業大学大学院情報工学研究院生命情報工学研究系教授、独立行政法人日本学術振興会研究開発専門委員会 WG 主査）

15：45 活動報告「ハードウェアプラットフォームの構築に向けて」  
藤田 大介（国立研究開発法人物質材料研究機構理事、独立行政法人日本学術振興会研究開発専門委員会 WG 主査）

16：00 活動報告「ソリューションプラットフォームの構築に向けて」  
柳内 克昭（株式会社 TDK テクニカルセンターユニットリーダー、独立行政法人日本学術振興会研究開発専門委員会 WG 主査）

16：15 活動報告「標準化の視点で考えるプラットフォーム構築」  
藤本 俊幸（国立研究開発法人産業技術総合研究所戦略部長、独立行政法人日本学術振興会研究開発専門委員会 WG 主査）

16：30 全体討論  
（司会）一村 信吾（日本学術会議連携会員、名古屋大学イノベーション戦略室長・教授）

17：00 閉会